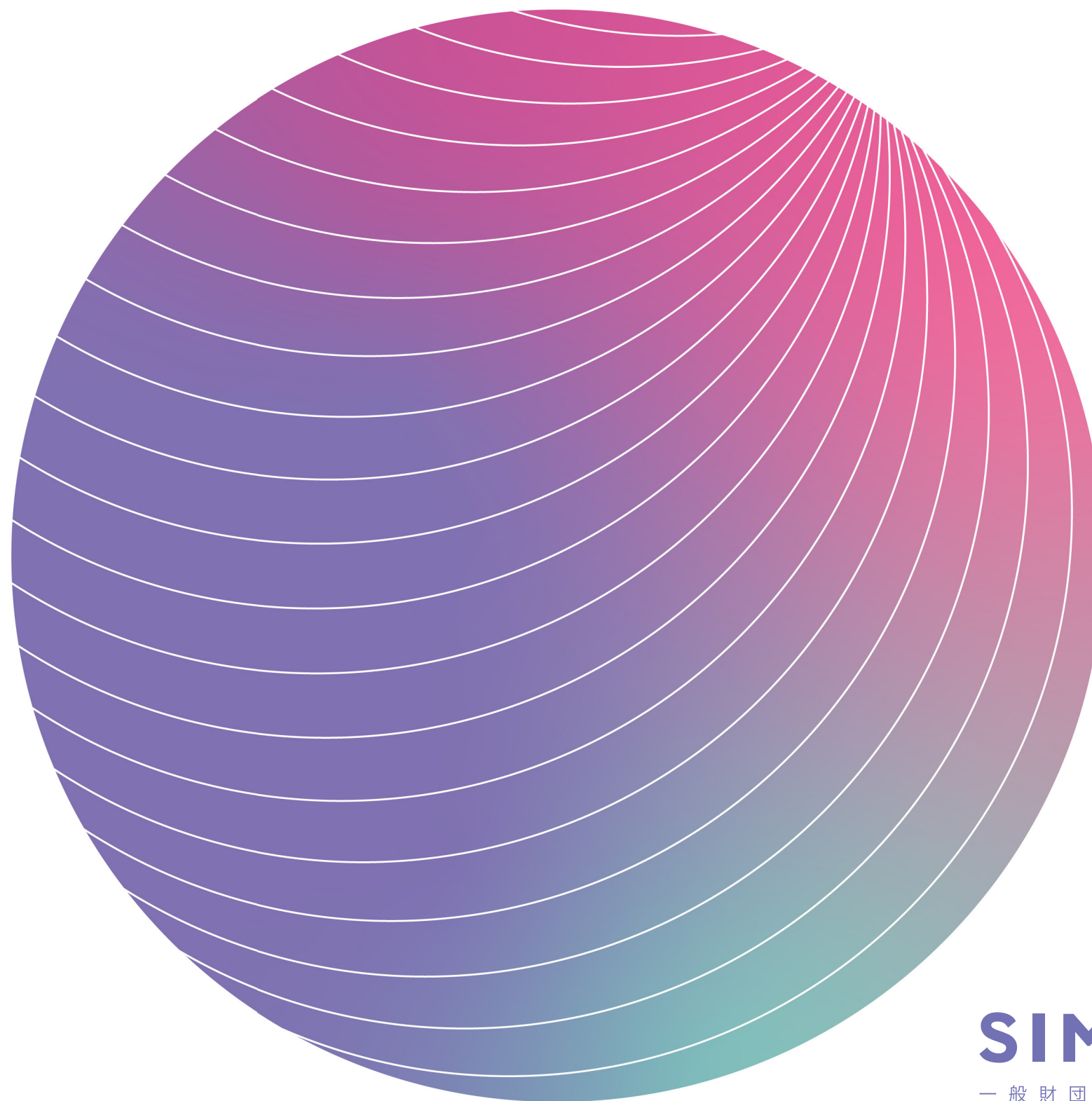




SIMI

一般財団法人
社会的インパクト・マネジメント・イニシアチブ
Social Impact Management Initiative

Annual Report
2020年度 年次報告書

2020.10 – 2021.06

目次

Table of Contents

団体情報

04 ビジョン・ミッション

05 理事メッセージ

06 沿革

事業紹介

08 知見の高度化

- － グローバルリソースセンター（GRC）
- － 掲載資料紹介
- － グローバルネットワークの構築
- － データベースの構築
- － ガイドライン・ツール開発

12 普及・啓発

- － Social Impact Day 2020
- － 数字で見る Social Impact Day 2020
- － その他の研修・イベント・セミナー

15 協賛・寄付のお願い

- － パートナー・助成団体
- － パートナーからの声

16 メンバーシップのご案内

- － エンゲージド・メンバー
- － 賛同メンバー
- － ご登録方法
- － 2020 年度エンゲージド・メンバー紹介

18 組織概要

19 会計報告

団体情報

About Us

ビジョン・ミッション

Vision and Mission

一般財団法人社会的インパクト・マネジメント・イニシアチブ (Social Impact Management Initiative: SIMI) は、日本において事業者、資金提供者・仲介者、行政、中間支援組織・シンクタンク、評価者・研究者など多様なメンバーが連携して、日本全体として「社会的インパクト・マネジメント」を普及させるためのマルチセクター・イニシアチブです。2021年6月時点で約170の組織・個人がメンバーとなっています。

設立趣旨

「社会的インパクト」の重要性を認識、理解し、その評価やマネジメントを普及させるために2016年に設立された社会的インパクト・マネジメント・イニシアチブ（旧称：社会的インパクト評価イニシアチブ）は、活動を開始してから5年目を迎えました。その間、この概念を取り巻くグローバルな議論は大きな進展をとげました。日本においても、社会課題解決の担い手である民間非営利組織や企業、資金提供者である金融機関、投資家、財団など、あらゆる主体が「社会的インパクト」を中核に置いた事業運営を行う必要性はますます高まっています。

このような社会情勢や経済情勢の変化を受け、私たちは2020年10月1日、以下のビジョン、ミッションを掲げて、一般財団法人社会的インパクト・マネジメント・イニシアチブ (SIMI) を設立しました。

< VISION >

社会的インパクト・マネジメントが実装され、
社会課題解決や社会価値創造が行われている
社会

< MISSION >

あらゆる組織の社会的インパクト・マネジメント
を促進するとともに、組織や業界、活動分野を
越えた参画・協働を加速する共創基盤を提供
します。



理事メッセージ

Director's Message

法人1年目の振り返りと今後に向けて



今田 克司
代表理事
(株式会社ブルー・マーブル・
ジャパン 代表取締役)

現代社会を「社会的インパクト」の観点で切り取りながら、私たちの社会のパラダイムを更新していく。SIMI がそういう役割を果たせるように、2020年度は準備の年、2021年度はいよいよ勝負の年と意識しています。



伊藤 健
業務執行理事
(特定非営利活動法人ソーシャル
バリュージャパン代表理事)

社会的インパクトをキーワードとして、様々な事業や活動がどのように社会課題の解決に貢献しうのかなという関心は高まっています。それに対して、どのようなメタレベルの取り組みが、こうした動きを加速させる有効なインフラとなるのかについては、日本のみならず世界的にも、手探りが続いていると考えます。SIMIの活動が、こうした状況に一石を投じるものになるように、私たちも知恵を絞ってゆきたいと思っています。



幸地 正樹
理事
(ケイスリー株式会社 代表取締
役 CEO)

社会的インパクトに対する関心は高まっているものの、そのマネジメントは未だ萌芽期にあります。SIMIは、2020年度に法人設立を通じて活動の土壌をつくりました。2021-22年度は、具体的な事業により力を入れ、社会的インパクト・マネジメントの芽を育てていく時期と考えています。同時に、様々な主体との連携し、共に取り組むためのネットワークを広げていきたいです。

誰にとっての何のためのSIMIなのか。私は社会にとって、その先にある一人ひとりのためのSIMIでありたいと思います。今年度は様々な変化が大きな流れとなりつつありますが、これを忘れずに、そしてSIMI自体も進化していかなければと感じています。



鴨崎 貴泰
専務理事
(日本ファンドレイジング協会
常務理事)



高木 麻美
理事
(Stem for Leaves 代表)

沿革

Chronology

2021

「社会的インパクト・マネジメント・ガイドライン ver.2」を公開

2020

一般財団法人として法人登記
アウトカム指標データベースを公開

2019

社会的インパクト・マネジメント・イニシアチブへ改称

2018

「社会的インパクト志向原則（現宣言）」策定
「社会的インパクト・マネジメント・ガイドライン ver.1」を公開

2016

SIMI の前身である社会的インパクト評価イニシアティブ発足
社会的インパクト評価実践マニュアル、ツールセットを作成（～2019 年）

SIMI の動き

2020

GIIN（グローバルインパクト投資ネットワーク）がインパクト投資における IMM（インパクト測定・マネジメント）の理解・実践の進化を報告

2019

国連開発計画（UNDP）が SDG Impact を開始

2018

日本の ESG 投資が 18.3%（残高ベース）に増加
「民間公益活動を促進するための休眠預金等に係る資金の活用に関する法律」施行、社会的インパクト評価が制度に組み込まれる。

2016

Impact Management Project (IMP) 発足
内閣府「社会的インパクト評価検討 WG」報告書発表

2015

GPIF（年金積立金管理運用独立行政法人）が PRI に署名

2013

G8「G8 社会的インパクト投資タスクフォース」発足
（英国キャメロン首相提言）
英国 Social Value Act（社会的価値法）成立

2006

PRI（責任投資原則）発足

世界、日本の動き

事業紹介

Our Activity

知見の高度化

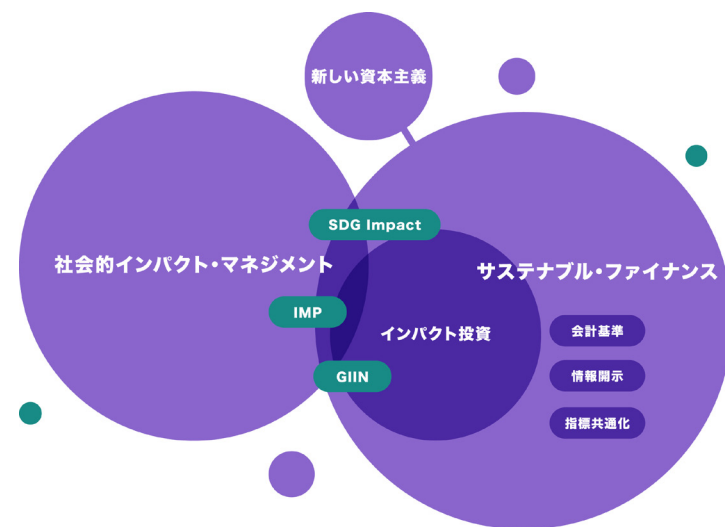
Knowledge Building & Facilitation

グローバルネットワークの構築やグローバルな最新情報の発信を通して、社会的インパクト・マネジメントに関する知見の高度化に取り組んでいます。

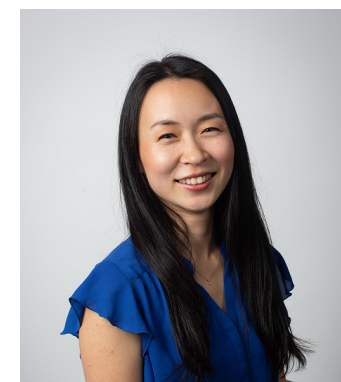
グローバルリソースセンター（GRC）



一般財団法人社会的インパクト・マネジメント・イニシアチブ (SIMI) グローバルリソースセンターは、社会的インパクト・マネジメント、インパクト投資、サステナブル・ファイナンス全般における海外の主要リソースをピックアップして日本語でわかりやすく解説する情報ポータルサイトです。社会的インパクト・マネジメントを取り巻く概念を、「社会的インパクト・マネジメント」「サステナブル・ファイナンス」「インパクト投資」「新しい資本主義」の4つのテーマに分類。各テーマの概要や、注目すべきサブテーマ、主要なプレイヤーを紹介し、その内容や重要性について解説しています。世界の最新リソースに直に触れ、グローバルな潮流や、目指しているものは何かをつかむことができます。



GRC コーディネーター からのコメント



渡辺 佑子 コンサルタント、Yuko Watanabe Consulting 代表

GRC の売りはなんといっても、世界の議論の潮流を把握するうえで欠かせないキーとなるペーパーやレポートが、①一目で分かるよう分野ごとに分類されており、②それらが和文で手に入る、というところです。関係する国際機関も多く複雑で、関連する資料の数もかなりあり、どこから手を付けていいかわからない。加えて原文は必要以上に回りくどい表現が多く難解で、パッと読むだけでは論点が良く分からず、ついつい後回しになってしまう…という人は多いのではないのでしょうか。限られた時間を最大限に活用し、それぞれのニーズに合わせて各自が自分のペースで知見を高めていくために、社会的インパクト・マネジメントの初級・上級を問わず幅広い方に、GRC を活用頂きたいと考えています。

掲載資料紹介

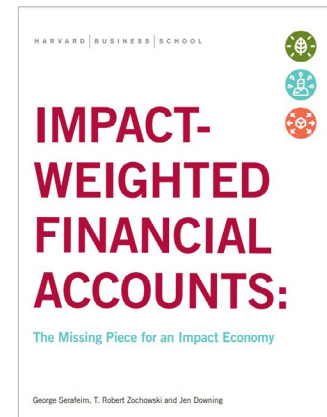
資料画像をクリックすると資料が閲覧できます



事業者のための SDG インパクトスタンダード

SDG Impact Standards for Enterprises

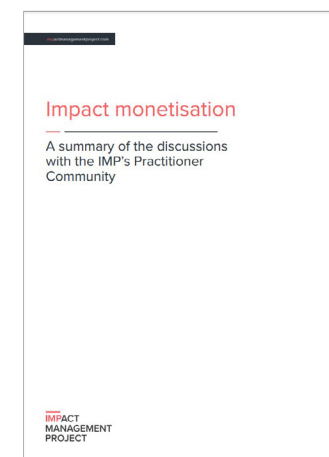
著者：SDG Impact



インパクト加重会計：インパクト・エコノミーのために必要なもの

Impact Weighted Financial Accounts: The Missing Piece for an Impact Economy

著者：George Serafeim、T. Robert Zochowski、Jen Downing
(ハーバードビジネススクール)



インパクトの金銭価値換算
－ IMP 実践者コミュニティの議論のまとめより

Impact Monetisation – A summary of the discussions with the IMP's Practitioner Community

著者：Impact Management Project



インパクト投資の中核的な特徴

Core Characteristics of Impact Investing

著者：Global Impact Investing Network

リサーチフェロー・コーディネーター紹介

当サイトは、日本、英国、米国を始めとした国内外に居住する 9 名以上のリサーチフェロー、コーディネーターが、リソースの選択、翻訳等を手掛け、最先端の情報をお届けしています。



五十嵐 剛志
ハーバードビジネススクール
Impact-weighted Accounts
リサーチフェロー



石田 ともみ
英国コンサルティング
会社在籍



清水 潤子
武蔵野大学人間科学部
社会福祉学科助教



中村 将人
インパクト投資ファンド
GLIN Impact Capital
代表パートナー



原 祥子
JICA 経済開発部民間セクター
開発グループ在籍



都澤 亜里沙
インディアナ大学
School of Philanthropy 在籍



今田 克司
SIMI 代表理事
(コーディネーター)



渡辺 啓子
コンサルタント、
オフィス・ブリッジ K 代表
(コーディネーター)

知見の高度化

Knowledge Building & Facilitation

グローバルネットワークの構築

社会的インパクト・マネジメントやインパクト投資に関わる国際的な議論に参画すべく、海外の関係団体とのネットワーク、パートナーシップ構築に取り組んでいます。



経済協力開発機構（OECD）

OECD Social and Solidarity Economy（OECD -SSE）に、パートナーシップ団体として参加しています。

OECD-SSE は 2020 年に OECD が開始した、社会的連帯経済（SSE）のエコシステム構築を推進するグローバル・アクションです。SIMI はコンソーシアムの一員として、主には、IMM（インパクト測定・マネジメント）におけるステークホルダー・エンゲージメントのあり方に関して、日本などからのインプットを含めた貢献に努めています。



インパクト・フロンティア

Impact Management Project（IMP）によるインパクト投資家間のネットワーク、ピアラーニングを推進するイニシアチブである Impact Frontiers の取り組みに協力しています。



インパクト・マネジメント・プロジェクト

Impact Management Project(IMP) の Practitioner Community に参画しています。

データベースの構築

社会的インパクト・マネジメントの実践の一助となる様、活動分野ごとのアウトカム、指標、測定方法を検索できるデータベースを提供しています。また、国内における社会的インパクト・マネジメントの実践事例や報告書などを掲載しています。

公開中のデータベース

- ◎ アウトカム指標データベース
- ◎ 実践事例
- ◎ 調査報告書・レポート

ガイドライン・ツール開発

ガイドライン、ツールセットの開発や、アウトカム指標や事例などのデータベース構築を通して、社会的インパクト・マネジメントの実践に必要な情報やツールを提供しています。



社会的インパクト・マネジメント・ガイドライン

SIMI では 2018 年に社会的インパクト・マネジメントの具体的な実施要領を示した「社会的インパクト・マネジメント・ガイドライン」を作成しました。多様なセクターからの関心の高まりを受け、事業者がより効果的に社会的インパクト・マネジメントを実践する一助となるよう、2021 年には改訂版を発表しました。

環境や就労支援など 12 の活動分野ごとに、ロジックモデルやアウトカム指標などマネジメントの実践例を示したツールセットも開発しています。

ガイドライン目次

- | | |
|--------------------------|----------------------------|
| 1 章 社会的インパクトについて考える | 4 章 インパクト・マネジメント・サイクルの回し方 |
| 2 章 社会的インパクト・マネジメントとは | 5 章 組織文化の醸成とガバナンスの構築 |
| 3 章 社会的インパクト・マネジメントの実践とは | 6 章 社会的インパクト・マネジメントの実践ステップ |

～改訂ポイント～

- ◎ 概論編（社会的インパクトの Why と What の解説）と実践編（社会的インパクトの How の解説）で大きく 2 部構成に。特に Why について記述。
- ◎ 社会的インパクト評価の 5+2 の原則を、社会的インパクト・マネジメント原則として発展させて、そこに「状況適応性」の原則を追加。
- ◎ インパクト・マネジメント・サイクルの回し方として、「意思決定の視点」と「評価の視点」をわけて整理。
- ◎ 社会的インパクト・マネジメントの実践ステップを 7 ステップに再整理。特に、ステップ 1 で「目的の設定をすること」を記載。
- ◎ インパクト投資のグローバル・スタンダードとの対応関係を整理



ユーザーからのコメント（アウトカム指標データベース）

地域参加型プログラムを評価するためのアンケートづくりに活用しました。アウトカムがカテゴリ別に検索できるのがありがたく、指標の検索がスムーズでした。初めてのインパクト測定だったので、先人たちの知恵をお借りできてとても助かりました。インパクト・マネジメント担当者にとってはとても便利なツールなので、もっと多くの方に知ってほしいと思います。（事業者／R.Y さん）

国内外の最新動向を共有する「Social Impact Day」や研修・セミナーの開催を通して、社会的インパクト・マネジメントの普及・啓発に取り組んでいます。

Social Impact Day 2020



Social Impact Day とは、社会的インパクト・マネジメントに関する国内外の最新動向を発信する日本最大級のイベントで、今回で5回目を迎えました。しかも今回は、**オンラインによる3日間の開催**という初の試みでもありました。登壇者は、新しい時代を切り拓くために試行錯誤を繰り返しながら挑戦してきたトップランナーの方々。事業者（営利・非営利）、資金提供者、中間支援、行政、学術などの視点から13以上のテーマにおいて現状や課題、将来像などを参加者と共有しながら、今後の挑戦について語る3日間となりました。

基調講演：『お金が表す価値を再考する - 社会的インパクト・マネジメントがもたらす未来 -』

<スピーカー>

- ・Jed Emerson 氏（Blended Value 創業者）
- ・銭谷 美幸氏（第一生命ホールディングス（株）経営企画ユニットフェロー、第一生命保険（株）運用企画部フェロー）

<主なセッションテーマ>

- ・SIM、インパクト投資に関する最新のグローバル潮流
- ・日本での営利・非営利・行政のSIM 実践事例
- ・国際的な新たな基準、フレームワークの動き



参加者の声

全体をとして、インパクト評価において WHY が繰り返し強調されていたのが印象的でした。とかく指標（型）に沿って評価をすることばかりに目が向かれがちですが、何のためにインパクト評価をして、それをどこに結び付けていくかを考える必要があるとわかりました。目的を見失わないよう、定期的に評価することの意義を振り返りながら、業務におとし込んでいきたいと感じました。

基調講演が大変印象的でした。SDGsに取り組むにあたっての哲学の不在、何のためにSDGsに取り組むのかから問い直す必要があること、とても刺さりました。

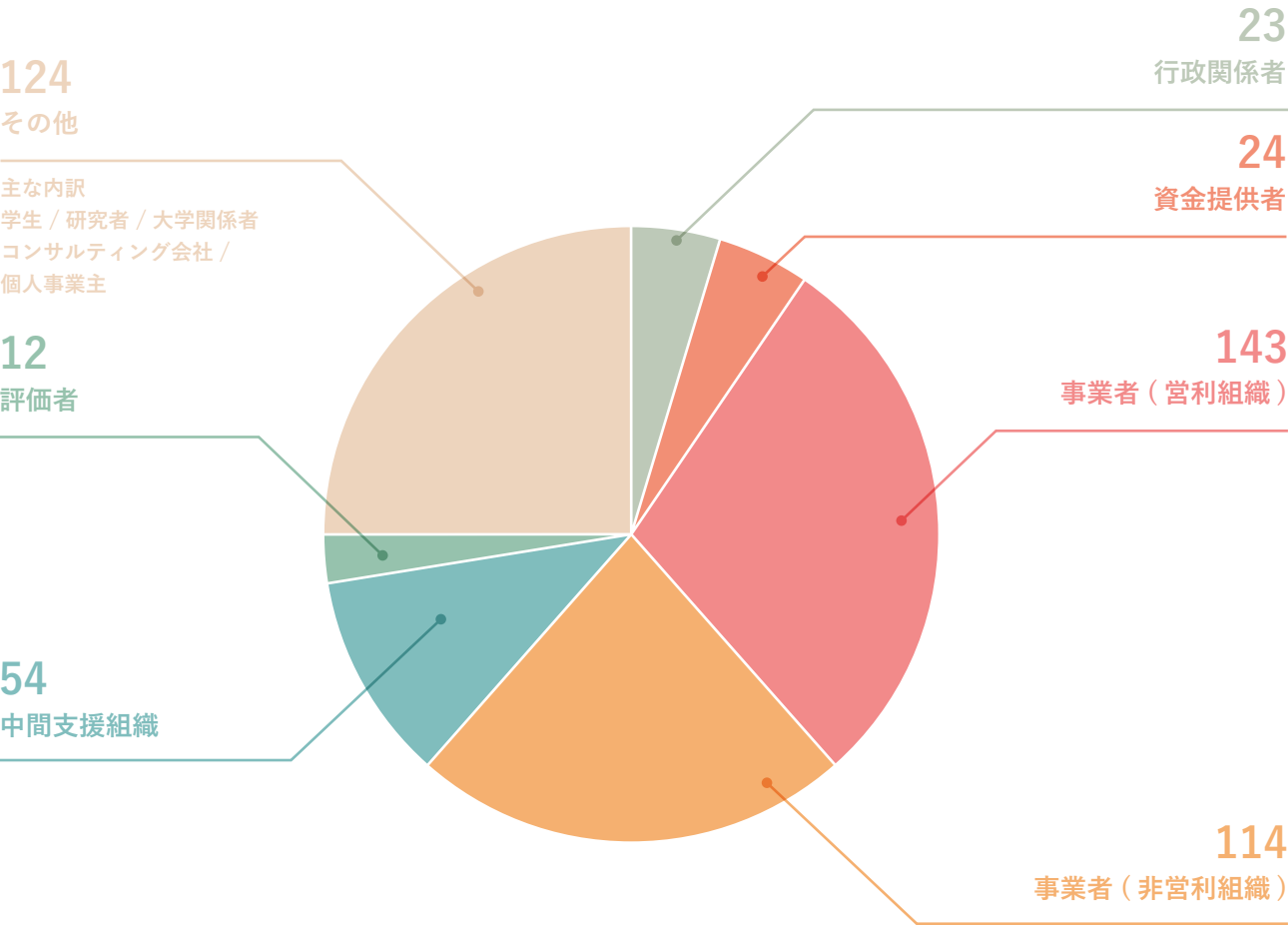
社会的インパクト・マネジメントへの関心の高まり、また熱量を感じることができた。来年にはもっと進化しているのではないかと考えた。

社会的インパクト評価のすべてのステージに関わるものとして組織のガバナンスと文化が挙げられていたことが印象深かったです。

数字で見る Social Impact Day 2020



参加者属性



その他の研修・イベント・セミナー

社会的インパクト・マネジメント (SIMI) の普及啓発を促進するため、ウェブサイト、ニュースレター、SNS 等での SIMI の取り組み事例の発信、幅広いセクターを対象としたセミナー等を開催しています。

2020 年度の主催セミナー・イベント、講演一例



SDG Impact Standards (for Enterprises) 解説・相談会

ゲスト：澁澤 健氏（コモンズ投信株式会社取締役会長、シブサワ・アンド・カンパニー株式会社代表取締役、SIMI 評議員）

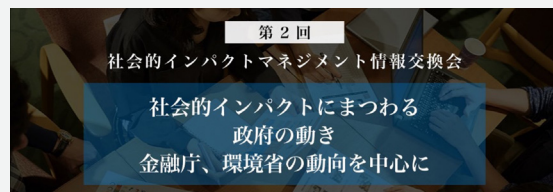
UNDP SDG Impact 企画運営委員会委員を務める渋沢健氏（SIMI 評議員）をゲストに迎え、SDG Impact 認証制度の動きや参画についてを議論しました。



国際指標データベース IRIS+ を活用した社会的インパクト・マネジメント実践ワークショップ

ゲスト：Global Impact Investing Network (GIIN)

国際的な指標データベースである IRIS+ の有用点や導入方法について紹介。日本での活用方法についても協議しました。



社会的インパクトにまつわる政府の動き 金融庁、環境省の動向を中心に

ゲスト：水口 剛氏（高崎経済大学学長、SIMI 評議員）

「社会的インパクト」に関する政府の動向をテーマに、特に環境省と金融庁の動きについて、関連する会議にて座長を務める水口剛氏（SIMI 評議員）をゲストに迎えて解説いただきました。



「インパクト評価とインパクト・マネジメント」（経団連 企業行動・SDGs 委員会企業行動憲章タスクフォース主催）

講演者：今田 克司（代表理事）

協賛・寄付のお願い

Sponsors and Donors

SIMI では「社会的インパクト・マネジメントが実装され、社会課題解決や社会価値創造が行われている社会」を目指して、事業協賛、寄付を通じて SIMI の活動にご参画くださる組織、個人の方を年間通じて募集しております。社会的インパクト・マネジメントを進化発展させるための事業協賛は、ご希望をお伺いしながら柔軟に対応いたします。事業協賛、寄付ともにお気軽にお問い合わせください。

パートナー・助成団体



パートナーからの声

この1年のSIMIの活動には目を見張るものがあります。法人化に際して、理事メンバーを中心に改めてSIMIの目的や意義を改めて明確にし、今後日本で社会的インパクト・マネジメントが普及するのに何が必要か、真剣に議論を重ねました。その結果、世界中の知見を集めたグローバルリソースセンターや、最先端な取り組みについてのセミナーなど、画期的な取り組みが生まれ始めてきています。これからもSIMIが日本の社会的インパクト・マネジメントのエコシステムの構築のために、人材と知見、そして夫々を繋ぐハブとしての役割を果たすことを期待します。（一般財団法人社会変革推進財団 事業本部インパクト・オフィサー 小柴 優子）



メンバーシップのご案内

Membership

日本全体に「社会的インパクト・マネジメント」を普及させることを目指し、SIMI の理念に共感・賛同し、ともに活動を推進するメンバー（組織・個人）を募集しています。

1. エンゲージド・メンバー（有償）

社会的インパクト・マネジメントに関心のある組織・個人で SIMI の事業や活動に共感・賛同することを表明し、活動を主体的に支えるメンバーです。

会費（年間）

① **10 万円**：前事業年度の売上高もしくは収入額が 1 億円以上の組織（非営利・営利を問わず）

② **5 万円**：前事業年度の売上高もしくは収入額が 1 億円未満の組織（非営利・営利を問わず）

③ **1.2 万円**：個人

※ SIMI の会計年度は 7 月～6 月のため、会員更新は毎年 6 月末となります。

会員特典

① エンゲージド・メンバー限定の SIM に関する勉強会・交流会への参加権利

② Social Impact Day の無料招待、SIM に関する研修、イベントなどの参加費の割引

③ SIMI の Web サイトや Facebook、ニュースレターにおける、SIM に関連するサービスやイベント情報、求人情報などの発信（組織会員のみ、年 4 回まで）

④ SIMI の Web サイトにおけるロゴまた組織名の掲載（組織会員のみ）

ご登録方法

ウェブサイト (<https://simi.or.jp/about/member>) の登録申込ページよりフォームに必要事項をご入力の上、ご送信ください。内容を確認後、事務局より連絡いたします。

ご不明な点がございましたら、事務局 (info@simi.or.jp) までお問い合わせください。

2. 賛同メンバー（無償）

社会的インパクト・マネジメントに関心のある組織・個人で SIMI の事業や活動に共感・賛同することを表明するメンバーです。

会費（年間）

無料

※ SIMI の会計年度は 7 月～6 月のため、会員更新は毎年 6 月末となります。基本的に自動更新です。

会員特典

① SIMI の Web サイトや Facebook、ニュースレターにおける、SIM に関連するサービスやイベント情報、求人情報などの発信（組織会員のみ、年 2 回まで）

② SIMI の Web サイトにおけるロゴまた組織名の掲載（組織会員のみ）

2020 年度エンゲージド・メンバー紹介（一部）

※ 2021 年 6 月現在、約 170 の組織・個人がエンゲージド・メンバー、賛同メンバーとして参加しています。

組織会員



個人会員

太田 圭哉
小林 真
新藤 健太
中島 道靖

浜辺 真紀子
福岡 貴美
堀 裕子
水口 剛

組織概要
Organization

名称	一般財団法人社会的インパクト・マネジメント・イニシアチブ (英文表記：Social Impact Management Initiative)		
設立	2020 年 10 月		
登記住所	東京都渋谷区		
代表者	代表理事 今田 克司		
評議員	青柳 光昌	一般財団法人社会変革推進財団専務理事	
	有馬 充美	西武鉄道株式会社社外取締役、 株式会社プリンスホテル社外取締役	
	太田 達男	公益財団法人公益法人協会会長	
	澁澤 健	コモンズ投信株式会社取締役会長、 シブサワ・アンド・カンパニー株式会社代表取締役	
	水口 剛	公立大学法人高崎経済大学学長	
	源 由理子	明治大学公共政策大学院ガバナンス研究科専任教授	
監事	鬼澤 秀昌	おにざわ法律事務所代表	
理事	伊藤 健	特定非営利活動法人ソーシャルバリュージャパン代表理事 (業務執行理事)	
	今田 克司	株式会社ブルー・マーブル・ジャパン代表取締役 (代表理事)	
	鴨崎 貴泰	特定非営利活動法人日本ファンドレイジング協会常務理事 (専務理事)	
	幸地 正樹	ケイスリー株式会社代表取締役	
	高木 麻美	Stem for Leaves 代表	
Web サイト	https://simi.or.jp/		

会計報告
Financial Report

貸借対照表

《流動資産》			
【流動資産】			
(現金・預金)			
普通 預金	10,616,258		
現金・預金 計	10,616,258		
(売上債権)			
未 収 金	4		
売上債権 計	4		
(棚卸資産)			
仕 掛 品	8,220,209		
棚卸資産 計	8,220,209		
流動資産合計	18,836,471		
資産合計		18,836,471	

《負債の部》			
【流動負債】			
未 払 金	3,099,998		
前 受 金	10,401,634		
預 り 金	37,526		
未払法人税等	52,500		
流動負債合計	13,591,658		
負債合計		13,591,658	

《正味財産の部》			
法人拠出金	3,000,000		
前期繰越正味財産	0		
当期正味財産増減額	2,244,813		
正味財産合計	5,244,813		
負債及び正味財産合計		18,836,471	

活動計算書

【経常収益】			
【受取会費】			
法人会員受取会費	675,000		
個人会員受取会費	96,000	771,000	
【受取寄付金】			
受取寄付金		247,326	
【受取助成金等】			
受取助成金		7,099,000	
【事業収益】			
受託事業収益		1,920,366	
【その他収益】			
雑 収 入	1,421,200		
受取 利息	28		
為替 差益	538	1,421,766	
経常収益 計			11,459,458

【経常費用】			
【事業費】			
(人件費)			
役員 報酬	399,000		
人件費計	399,000		
(その他経費)			
業務委託費	5,072,200		
諸 謝 金	1,434,000		
通信運搬費	74,106		
消耗品 費	5,980		
支払手数料	135,491		
その他経費計	6,721,777		
事業費 計		7,120,777	

【管理費】			
(人件費)			
人件費計	0		
(その他経費)			
業務委託費	1,215,105		
通信運搬費	78,279		
消耗品 費	67,610		
印刷製本費	2,510		
賃 借 料	41,530		
租税 公課	1,440		
支払手数料	117,452		
支払寄付金	270,491		
開業準備費	246,951		
その他経費計	2,041,368		
管理費 計		2,041,368	
経常費用 計			9,162,145
当期経常増減額			2,297,313

【経常外収益】	
経常外収益 計	0

【経常外費用】	
経常外費用 計	0
税引前当期正味財産増減額	2,297,313
法人税、住民税及び事業税	52,500
当期正味財産増減額	2,244,813
前期繰越正味財産額	0
次期繰越正味財産額	2,244,813